

令和7年度第2回徳島県周産期医療協議会 議事録

1 日時

令和8年3月10日(火) 午後7時から午後8時30分まで

2 会場

オンライン開催

3 出席者

(1) 委員(17名)【五十音順・敬称略】

岩佐 武(会長)、漆原 真樹、加地 剛、岸 揚子、近藤 秀治、斎藤 誠一郎、
佐藤 純子、田口 義行、中川 竜二、西村 正人、別宮 史朗、森脇 智秋、
山田 祥子、山本 哲史、横山 敦子、渡辺 浩良、柳澤 延昭(代理:正瑞達夫)

(2) オブザーバー

小谷 裕美子、吉田 あつ子、峯田 あゆか、鈴記 洋子

(3) 事務局等

鎌村 医務技監、健康寿命推進課、子育て応援課、医療政策課、
救急・災害医療対策室、病院局、各保健所等

4 会議次第

(1) 開会

(2) 議事1 周産期医療協議会各専門部会からの報告

議事2 その他

(3) 閉会

5 議事の概要

議事1 周産期医療協議会各専門部会からの報告

(1) 母子保健専門部会報告 【資料4】

- ・乳児死亡症例の検討
- ・窒息事故防止対策(リーフレット改訂・配布、チェックリスト配布・運用)
- ・今後、グリーフケアの検討を行う

(2) 災害対策部会報告 【資料5】

- ・周産期災害対策マニュアルの改訂→R8.7月承認を目指す
正常分娩の振り分けの事前決定や、連絡手段の検討が必要。
- ・災害訓練実施(R8.2.1)

- ・小児周産期リエゾンの更新・追加について承認
- ・小児周産期リエゾンのリーダー・サブリーダーについて承認

周産期の中での体制はできあがってきている。次の段階として各病院への周知、同意を得る必要があると会長から意見あり。

(3) 共通診療ノート部会報告 【資料6】

- ・共通診療ノート・防災ノートの改訂
他職種が連携できる内容に変更
- ・研修会実施予定 (R8. 3. 25)

(4) 妊産婦メンタルケア部会報告 【資料7】

- ・ガイドラインの改訂
- ・研修会開催 (R8. 3. 10)

議事2 その他

(1) 新生児マススクリーニングについて 【資料8】

拡大スクリーニング、公的スクリーニングの実績・今後について報告

(2) 助産師活用推進事業について 【資料9】

my 助産師による継続ケアの実施、助産所と嘱託連携医療機関との連携について報告。

助産所と嘱託連携医療機関との連携については丁寧に調整・協議するよう意見あり。

(3) 県立中央病院 GCU の病床数について

県立中央病院の現状報告に加え、今後、県全体や各施設の中長期的な必要病床数 (NICU/GCU) について、県が主導で協議会の場で検討し、周産期医療体制の方向性を策定する必要があると問題提起。少子化を見据えつつも、本当に必要な場合の受入は維持する必要がある。

(4) その他

- ・令和8年4月から定期接種が開始されるRSウイルスワクチンの状況について
情報共有
- ・新生児蘇生プロトコルの改訂作業中